

KONAN TODAY



2018
SPRING

No. 53



●特集1 「社会とつながり、社会に応える」
大学の枠を超えた、
甲南大生の活動に密着

●なるほど!甲南アカデミア
理工学部
物理学科 教授
富永 望

●It's KONAN Style
国際映画祭で
評価を受けた映像作家
八十川 勝さん

KONAN TODAY No. 53

2018年3月26日発行 [発行] 甲南学園広報部 〒658-8501 神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL.078-431-4341(代)

<http://www.konan-u.ac.jp>



甲南学園の100年

Precious time behind us ～豊潤な時を讀えて～



昭和18(1943)年ごろ。創立後まもなく整備された石段に立ち応援する甲南生。

『甲南の園』



岡本キャンパスにある現在の石段一帯。

学園は間もなく創立百周年を迎える。この間、何世代にもわたり学生が学び舎を巣立ってきた。

平生飢三郎先生の人となりや旧制高等学校における甲南教育の神髄について、諸先輩方から直接お話を伺う機会も多い。同じ学園で学んだ人々が自らの経験知を口伝し、連綿と紡いでいく。われわれが母校を誇りとする原点である。

加えて甲南は、さながら古都のごとく、歴史を語りかけるキャンパスをもつ。上の写真は、先の大戦下における甲南生の日常を切り取ったものである。下の写真は、当時の面影を残す現在の姿を表す。時を経て、今では女子学生も友人とともに集い来る。

「社会とつながり、社会に応える」 大学の枠を超えた、甲南大生の活動に密着

あふれる好奇心、絶えることのない挑戦心

つながりが育む新たな可能性

大学開学の間もないころ、第1期生となる女子学生たちが、「知識だけではなく女性としての教養を身につけたい」と初代学長の荒勝文策先生に願い出た結果1週間後には学内に最新式システムキッチンが据えられたといいます。活動的な学生の姿勢と、その意欲を応援し成長に導く構図は、今も変わらず受け継がれています。特集では、課外活動や地域との交流、新施設iCommonsに拠点を置く部活動など、さまざまな舞台で切磋琢磨しながら成長する学生の活動を紹介します。

CONTENTS

02 特集 1

「社会とつながり、 社会に応える」 大学の枠を超えた、 甲南大生の活動に密着

・農業系サークル・Agrista(アグリスタ)
・和ろうそく手作りキット開発
・ACT地域広報グループ
・茶華道料理部道心会

08 iCommons オープンイベントウィーク

09 なるほど! 甲南アカデミア 理工学部 物理学科 教授 富永 望

“時空のさざ波”重力波を放つ
天体の光を初めて観測

11 KONAN TOPICS

甲南学園から“旬”のニュースをお届けします

15 高中 Topics

第72回国民体育大会 アーチェリー少年男子団体優勝
アーチェリー部
第9回国際ジャズオーケストラ・フェスティバル
高校バンド総合優勝
ブラスアンサンブル部
2017年ソフィア講演会

17 特集 2

甲南高等学校・中学校卒業生 トークセッション

甲南の自由な風土と優しい先輩たち
人の良さが音楽に出るよね

トランペッター 広瀬 未来さん
ジャズ作曲家・ピアニスト 李 祥太さん

21 岡本ぶらり 第3回

岡本的 春のお散歩のススメ

23 さまざまな分野の第一線で活躍する卒業生

It's KONAN Style 映像作家 八十川 勝 さん
神戸・明石から国際映画祭へ
「地域」と「世界」を作品で結ぶ、映像作家

25 平生鈺三郎日記行記念シリーズ

興奮に沸く花園と甲子園

27 タイムトリップ Memories vol.01

29 KONAN FORUM

課外活動成果報告／新刊一覧 ほか

裏表紙 甲南学園の100年



表紙の1枚
岡本キャンパス
12号館前の桜

Case
01

養蜂



農業から養蜂へシフト
販売すること、伝えることの難しさを学ぶ

2013年、「カッコいい農業で日本の未来を変える」というコンセプトが評価され、「にしのみや学生ビジネスアイデアコンテスト」で最優秀賞を受賞し、野菜などの有機栽培を始めたマネジメント創造学部 農業系サークル・AgriSta(アグリスタ)。しかし、現メンバーたちが加入したころには創設メンバーも卒業、状況は変化していたといいます。

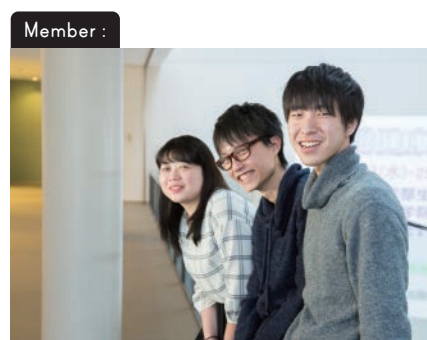
「当時は大学近くに住む下宿生が中心で、郊外にあった畑に毎日通えたそうですが、現メンバーのほとんどは実家通学者。時間、交通手段すべてがなく、毎日農作業できる環境にありませんでした」と代表の佐藤さん。自分たちでもできること、そう考えた末の結論が養蜂。「春から9月末ころまで蜂蜜の採取や巣箱の掃除作業を週1〜2回の頻度で行う養蜂ならできる」と考えた養蜂活動リーダーの下川さん。まずは、養蜂の本格化に向けた費用を捻出するため年間事業計画書を作成し、父母の会の助成金を得て、2016年より活動をスタート。宝塚市の養蜂家に場所とノウハウを提供してもらい、2つの巣箱に棲む約1万匹の蜂から10kg以上の蜂蜜の生産に成功しました。

「同時に販売方法も検討。瓶、ラベルなどのデザインもすべて自分たちで手掛けました。また、イベント出店に加えネット販売も計画し、ホームページを開設しました」とWebデザイン担当の木ノ川さん。中でも価格設定で試行錯誤した下川さんは、「量産商品と比べると、75ml 750円、150ml 1400円は割高です。そこで、無添加、無農薬、栄養価を損なわない非加熱の天然蜂蜜という価値を全面に出すことに。回を重ねることにお客さまに伝えられるようになりました」。

主催イベント『まるまるしえ』に挑戦！
まちの活性化を担える存在をめざす

「結果、年間15万円を売り上げましたが、以降はリピーターを獲得しなければビジネスとして成り立ちません。さまざまな場所で開催されるイベントではリピーターにつながりづらい。ならば、自分たちでマルシェ(市場)を開催すれば良いのでは？」と考えたという佐藤さん。1年かけて会場を探し、六甲道南公園を確保。2017年10月にイベントでつながった農業系学生団体による『まるまるしえ』を開催！のはずが、大型台風に見舞われ延期に。改めて行われた11月では、当初の8団体から4団体へと出店数が半減したものの、フェイスブックやピラを駆使した広報活動が功を奏し、3500人の集客を記録しました。

「今後は、月1回ペースの開催が目標です。今は学生だけの出店ですが、いずれはバリエーション豊かな出店者を募り、フランスさながらのマルシェをめざしたいと思っています」と佐藤さん。『まるまるしえ』でまちを活性化したい。そんな思いを胸に、アグリスタは今日も進化を続けています。



【左から】 マネジメント創造学部 3年次
下川 真菜美(しもかわ まなみ)さん
木ノ川 文哉(きのかわ ふみや)さん
佐藤 祐輔(さとう ゆうすけ)さん

AgriStaホームページ// <http://agrista.jp>

Case
02

和ろうそ



努力の成果を灯す

“子どもたちが楽しめる”和ろうそく手作りキットを開発

西宮の伝統工芸和ろうそくと
夏休みの自由研究に悩む子どもにも注目

「きっかけは1年次のときの『にしのみや学生ビジネスアイデアコンテスト2015』。西宮市の伝統工芸品である和ろうそくに着目して応募しました」と語る若林さん。売っただけではきつと若者は振り向かない。ならば、夏休みの自由研究に悩んでいる子どもたちのため、手作りキットがあれば売れるのでは？という発想により、見事最優秀賞を受賞。しかし、商品化には理想と現実との穴埋めが大変だったといいます。たとえば、当初ろうそくを固める型として考えていたシリコン型は高額。代わりにトレーシングペーパーを使い、クレヨンで柄を描くことでオリジナルのろうそくを作るという発想に行き着くまでは、試行錯誤の連続だったそうです。

こうして進み出した和ろうそくプロジェクトは、その後、金岡さんと本木さんという力強い仲間を得て、テストマーケティングとなるイベントを開催。実際に子どもたちの行動で、危険度や作りづらさなどを確認できたことは大きな収穫でした。これにより、説明書に修正を加え商品化に向けてよりブラッシュアップできました(本木さん・金岡さん)。

ビジネスよりも

「楽しさを伝えること」にシフトチェンジ

無事に製品化へとき着け、次の課題は販売方法。当初は小学校への普及によって、大量販売できないかと考えていましたが、教育委員会との相談を重ねた結果、難しいとわかり断念。学生らしく身の丈に合った方法を模索することになりましたという若林さん。そこで、純粋に子どもたちが楽しめる和ろうそくを伝えるという目的で、地道に一つひとつ販売することを目標に決めました。



【左から】 マネジメント創造学部 3年次
金岡 信宏(かなおか のぶひろ)さん
本木 哲久(もとぎ あきひさ)さん
若林 瑞穂(わかばやし みずほ)さん
南 梨穂(みなみ りほ)さん

2017年3月、初めての販売活動となる西宮市の「NPOフェスティバル2017」では、購入してもらったら、その場で一緒に作れるというアイデアが功を奏して、親子連れなどを中心に50数個を販売。このイベントを機会にSNS(会員制交流サイト)への活動報告やチラシ作成など、広報活動の担い手として新たに加入した南さんは「自分たちの一言が購買力に反映される」と手応えを感じたそうです。

また、2017年4月には指揮者の佐渡裕さんが率いる「スーパークイズ・オーケストラ」に同行し、東北・岩手釜石へ。和ろうそくの手作りキット100個を震災学習用として無料配布し、現地の子どもたちとともに鎮魂の祈りを込め、記念演奏会のひとときにその光を灯しました。その後、夏には体験教室を開催。定員の3倍の応募があり、夏休みの自由研究教材になる手応えを感じたといいます。結果的に、文化の継承や発信がメインとなった和ろうそく事業。「コツコツとがんばる」という基本的なことを再認識し、目の前の一步を大切にすると、想像を超える高みに上げられることを実感しましたという若林さんのことばどおり、和ろうそくは、メンバー一人ひとりのこれからの人生に大きな灯火を与えてくれる存在となったようです。

ACT

甲南大学×御影クラッセ
100回目を記念するイベントで、
広がる地域の絆を実感！



フラワーカーペットで
地域の絆をつくるイベント

2017年12月9日、御影クラッセの広場に設置されたパンジーの花などで彩ったフラワーカーペットが、訪れる人を迎えました。甲南大学JAZZ研究会が奏でるクリスマスソングが流れる中、バルーンアートや花でクリスマスリースを作るワークショップ、インスタ映え「必至の撮影コーナー」など、盛りだくさんの内容で、多くの人が笑顔でつながったイベントの名は「花で広がる100度目の輪」。

同イベントの企画・運営を担当したのは、甲南大生で構成する「ACT地域広報グループ」の8名。甲南大学と近隣商業施設の御影クラッセは、地域連携協定を締結したことをきっかけに、地域の活性化を目的としたプロジェクトを開始。「ACT (Active & Academic Community Team)」と称したイベントを、2010年から開催してきました。今回記念すべき100回目のACTを迎えることから、ACT地域広報グループの学生たちがイベントの企画・運営にチャレンジすることになりました。

同グループは、本来ACTの告知や紹介を行う広報誌「みかげの輪」の編集チームです。イベントの企画は初めてのことでとまどうことも多かったですが、イベントのテーマ「地域の施設や人の絆づくり」を表現するために、皆でアイデアを出し合いました」と語るのは谷水さん。「みかげの輪」は、御影クラッセだけでなく、近隣の保育園や幼稚園を中心に年4回程度、配布しています。いつもつなが

りのある園児たちがかわってくれるイベントにしたいと思いましたが、そのためにはどうすればいいのか？という点が企画を考えるうえで一番苦労した点でした。花の苗でフラワーカーペットを作ると決めたとき、苗を育ててもらうことで園児にも、花を育てることで命を育む大切さを体験してもらえると考えました」と高橋さんがことばを添えます。

皆のアイデアで

「地域連携支援プロジェクト」に採択

フラワーカーペットのデザインを担当したのは山内さんです。12月といえばクリスマスということで、フラワーカーペットの中央にクリスマスツリーを設置して、ツリーの周囲を花の苗によって氷の結晶のようにかたどることを思いつきました。調べてみると、氷の結晶には六花という別称があり、花という字が入っているし、再生という意味があることもわかりました。ACTは、薄れつつある地域のつながりや絆を再生することも目的の一つですので、再生という意味があるならこれしかないと思いました。

さらに「イベント当日は、白いバラの花びらを敷き詰めてフラワーカーペットを完成させることにしました。園児たちだけではなく御影クラッセに買い物に来た方も花びらを敷いていたことで、イベントを通じて皆がつながることができると考えました」と丸谷さん。同グループのアイデアは甲南大学のプレミアムプロジェクトの一環で「地域連携支援プロジェクト」の採択を受けて助成金を獲得。助成金を花の苗、約450株の購入資金に充て、開催に向けて着実に歩を進めていきました。

イベント当日のすばらしい感動を
次の活動の糧に

イベントを振り返って苦労したことは、「お花

強になった（谷水さん）。自ら考え行動する大切さを知った（高橋さん）。イベント中は、みんなカッコイイと思った。私もこの仲間なんだと思うと誇らしかった。今後もいろいろなことにチャレンジしたい（山内さん）。

地域の絆を育むという思いをかたちに変えたイベントは、地域の人たちだけでなく、グループの絆も育んだようです。

【後列 左から】
法学部 2年次 丸谷 紗里奈(まるたに さりな) さん
文学部 2年次 児嶋 楓子(こじま ふうこ) さん
文学部 2年次 高橋 奈緒子(たかはし なおこ) さん
経済学部 2年次 山内 脩平(やまうち しゅうへい) さん



【前列 左から】
法学部 2年次 松成 詩乃(まつなり しの) さん
経済学部 2年次 福永 侑矢(ふくなが ゆうや) さん
経済学部 2年次 吉川 拓也(よしかわ たくや) さん
文学部 2年次 谷水 冴綺(たにみず さき) さん



御影クラッセの
ご担当から
コメントを
いただきました。

学生自身がイベントを楽しんでおり、積極的に地域の方々とのつながりをもとうとする意志が感じられました。学生ならではの斬新で豊かな発想力が、地域活性化の原動力になると感じているので今後もまちづくりの推進につながる企画の立案に期待しています。

住商アーバン開発株式会社 御影クラッセ事業所
営業チーム 販促担当 小原 湯里 さん

ACT.103のお知らせ

2018年5月開催！
甲南大学体育会
チアリーディング部と一緒に
チアダンスを踊ろう

募集等詳細は決まり次第、御影クラッセ
ホームページ(<http://mikage-classe.com>)
でお知らせいたします。

iCommons オープニングイベントウィーク

魅力的なイベントが盛りだくさん・大盛況の1週間でした。

10月
2~7日
(月~土)

10月2日から1週間、iCommonsのオープンを記念して、学生向けに音楽ライブや講演会などのイベントが実施されました。イベントはエントランスの吹き抜けスペース「Agora」をはじめ、さまざまな会場で開催されiCommonsの活用法について、可能性の広がりを感じられる機会にもなりました。

理工学部教員による研究発表
■公開講演会
場所: Agora

協定校からの留学生をお迎えしました
■Welcome Party
場所: Hirao Dining Hall South

■Let's ボルダリング
場所: Fitness Room

PICK UP (10.2・3)

Let's ボルダリング
場所: Fitness Room

Fitness Roomのボルダリングウォールを使った体験会。ロッククライマー中村拓哉さん(H23経済)の指導に、多くの学生が初体験しました。

10・3(火)

多様な働き方を知り視野を広げるセッション
■ワールドカフェ
場所: Union P2・P3

■Lunch Live
場所: Agora

10・5(木)

西宮キャンパスの学生が出張ライブ
■学生LIVE
場所: Agora

甲南大学教職員向け研修会
■キャンパスライフ支援講演会
場所: Union P2・P3

■貴志康一
作品演奏会
場所: Agora

ヴァイオリニスト山中裕平さん(H9高)とピアニスト藤波結花さんの演奏に多くの聴衆が耳を傾けました。

10・7(土)

PICK UP (10.7)

サイエンスカフェ
ひょうご
場所: Union L4

「ホヤから探る心とからだのしくみ」をテーマに、ゲストスピーカー日下部岳広教授(理工学部)と気軽に語り合うイベントは好評を博しました。

PICK UP (10.2)

田中修特別客員教授
講演会
場所: Agora

『秋を魅せる植物の“ふしぎ”』をテーマに、世界一受けたい授業などで有名な田中教授が講演。地域の方々も聴講されました。

秋を魅せる
植物の“ふしぎ”

PICK UP (10.2)

ひょうごの
キラリ企業との
交流セミナー
場所: Union L4

兵庫県の優良企業6社の人事担当と面談できる就活イベント。オープンスペースの特性から、近くを通りがかった学生も関心を示していました。

PICK UP (10.6)

満月観望会・
プラネタリウム
場所: 4階テラス・iStage

天文同好会主催による満月観望会はあいにくの雨に見舞われましたが、地下のiStageは暗闇の再現性が高くプラネタリウムには最適な空間でした。

期間中の展示イベント

■長谷川三郎展
場所: Union P2・P3前

■貴志康一パネル展
場所: Union L3

■「甲南学園100周年の歩み」展示
場所: Union L1

■ポスター発表・展示
場所: Union L2

■サイエンス展示会
場所: Agora West



60余年の歴史の伝統のクラブ

初釜の舞台は、新施設iCommons (アイコモンズ)

2018年1月13日、同部がiCommonsの茶室で、初釜を行いました。初釜は、新年初めの茶会であり、その年の稽古始めとして執り行われる茶事で、道心会の伝統的な取り組みです。全部員が参加できるように、料理部門の部員にお節料理を依頼し、華道部門の部員には客人として参加してもらいました」と語るのは、

開放的な茶室で
新しい歴史を刻む

そして現在、部員は56名となり、茶道、華道、料理の3部門で構成するユニークなクラブです。同部が誕生したのは、甲南大学が開学した翌年の1952年のこと。「女性としての教養を身につけたい」といった当時の女子学生の思いを受けた初代学長の荒勝文策先生が、学内に最新のキッチンを設置したことに端を発します。当初は「女子学生クラブ」と称して、約20人の学生が料理の習得に取り組んだクラブで、初めて茶会が開かれたのは1957年。その後、正式に茶道部門が設置されて華道部門が加入し、現在の茶道、華道、料理部の3部門で成り立つ独自のスタイルになったのは1971年でした。その後、1999年に「茶華道料理部道心会」に改名し、この年から男子学生の入部が可能になりました。

統括部長の曾我周蔵さんです。同部が初釜に向けて準備に取り組んだのは、2017年10月、曾我さんの指揮の下、各部門長が中心になって全部員でアイデアを出し、iCommonsの茶室で初釜を行うことを決定。茶室の近くにキッチンがあることを生かして、料理部門がお節料理を手掛けることになりました。曾我さんは「部のイベントにはできるだけ他の部門を巻き込み、3部門が一緒に活動できるようにしてきました」と統括部長として心掛けてきたことを振り返ります。

Leader :



経済学部 3年次
曾我 周蔵(そが しゅうぞう) さん

茶道、華道、料理の3部門からなる
茶華道料理部道心会

Case
04

初釜

“時空のさざ波”

重力波を放つ天体の光を初めて観測



1916年、アインシュタインによって予言された重力波が、2015年になって遂に観測されました。その存在が確認されれば、次の課題は、重力波が放たれた位置の特定です。重力波が初めて観測されてから2年後、2017年8月17日に再び発見された重力波の源となる天体を見事に突き止め、その明るさの時間変化を初めてとらえた理工学部の富永望教授にお話を伺いました。

理工学部 物理学科 教授

富永望

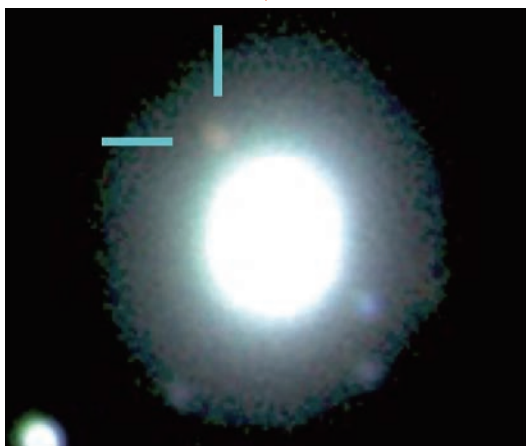
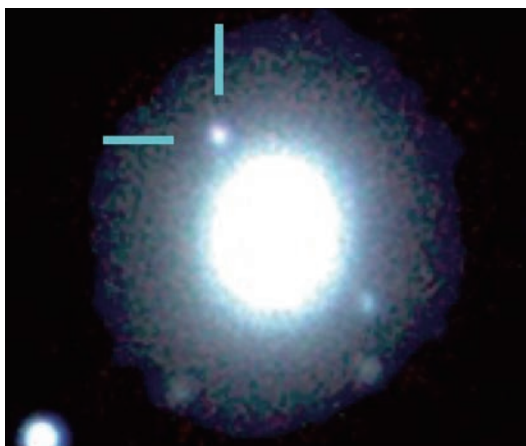
重力波は、どこからやってくるのか

重力波とは例えるなら“時空のさざ波”のようなものです。宇宙空間では、ブラックホールの合体のように、ケタはずれにスケールの大きな出来事が起こっています。この合体によって引き起こされる、宇宙を構成する物質の振動が重力波の正体です。ただ振動といっても、ごくわずかな動きです。重力波が地球に届くときの信号の大きさは、水素原子核1個の大きさの1000分の4だけ動く程度に過ぎません。

重力波の存在自体は、1000年前に既にアインシュタインの一般相対性理論によって予言されており、1980年代に間接的に証明されました。ですが、実際に重力波を観察するには、極めて精度の高い検出器が必要となるため、2015年まで検出できなかったのです。

重力波の存在が確認されると、次のテーマはその発信源を突き止めることになります。ただし、ブラックホールが合体した場合、そこに観測可能な痕跡は何一つ生まれません。そもそもブラックホールとは、あまりに強い重力が働くために、物質はもとより光さえもそこから脱出できない天体だからです。

そこで観測対象として期待されていたのが、重力波を発生するもう一つのイベント、中性子星の合体です。中性子星同士が合体



中性子星合体からの光。合体直後には青かったが、合体から1週間後には赤くなっている様子がわかる。(出典：J-GEM)

の特定のほかにも重要な意義があります。中性子が合体する際には、金やプラチナなどの重い元素が生まれるのです。我々のチームは、重力波源の光赤外線追跡観測を行い、明るさの時間変化の追跡に成功しました。その観測結果が示すのは、重力波源において金やプラチナなどの元素が合成されていることです。

そもそも宇宙ができた時点で存在していた物質は、水素とヘリウムと微量のリチウムだけでした。これらは原子番号の1、2、3に相当する軽い元素です。やがてこれらの物質が集まって星ができ、星の内部が超高温・超高圧になると核融合反応が起こります。核融合により炭素や酸素、そして原子番号26の鉄までが作られていきます。ところが鉄は非常に安定した元素であるため、これ以上の核融合は起こらなくなるのです。これらの元素は、超新星爆発により宇宙空間に放出されます。超新星爆発とは、太陽より10倍以上重い星が、水素から鉄までの元素を作って最終的に爆発する現象です。

けれども、地球上には鉄よりも重い元素がいくつもあります。さまざまな元素があるからこそ、我々人間を含む生き物が誕生したのです。重い元素は、一体どうやって作られたのでしょうか。そのカギを握るのが中性子です。

中性子星はとてつもなく重い星です。その密度は1立方センチメートルあたり10億トンにもなります。実際の大きさは半径10キロメートルぐらいにもかかわらず、半径70キロメートルの太陽と質量は変わりません。中

性子星が合体する際には、中性子が周囲に飛び散ります。この中性子が鉄などの原子核に取り込まれ、その一部が陽子に転じると、新たに鉄より重い元素が誕生します。これは中性子捕獲反応の一種で「rプロセス」と呼ばれています。金やプラチナなどの重い元素が合成されるのは、この「rプロセス」においてだとかねてから予想されていました。今のところ元素合成そのものはまだ確かめられていませんが、今後確認される可能性が出てきました。

思った通りにいかないのが研究の楽しみ

今回観測された「SSS 17a」は、理論的に予想されていた天体よりも少し明るく、その理由は放出された物質の量が多かったから

ではないかといわれています。これが中性子星合体の典型なのか、それとも特別に明るかったのかは、これからの観測結果が教えてくれるはずです。その意味では、2020年代半ばからの稼働が予定されている直径30メートル級の望遠鏡に期待がかかります。直径8メートルのすばる望遠鏡の4倍ですから、集光力は10数倍になります。

観測力がパワーアップされれば、収集できるデータ量も一気に増えるでしょう。そこで重要なのがデータ解析です。これはかなり特殊な作業となるため、データ解析用のソフトをカスタマイズしたものを使っています。カスタマイズしたソフトを使いこなせるのは、今のところ私だけなので、さまざまなデータ解析を一手に引き受けているような状況です。

中性子星の合体は、宇宙最大の爆発とも

すると、強い重力波が放射されるとともに、中性子星の一部が高速で宇宙空間に放出されると考えられています。この際に放射される電磁波は観測可能ですから、中性子星の合体により重力波が発生したときには、その発生場所を特定するチャンスが出てきます。

2017年8月17日、アメリカとヨーロッパのチームが、中性子星の合体による重力波の観測に成功しました。この情報はただちに世界中の電磁波観測グループに伝えられ、各地で電磁波の追跡観測が始まります。そして約11時間後に、アメリカのグループなどが重力波の発生源と思われる天体「SSS 17a」を発見しました。

我々のチーム「J-GEM」も、ハワイに設置された世界トップレベルの望遠鏡「すばる」を使って観測に取り組み、おおよその見当をつけたエリアをしらみつぶしに探しました。その結果、重力波検出から17時間後には、重力波到来方向の66%をカバーするエリアの追跡観測に成功します。ハワイから甲南大学に送られてくるデータをただちに解析し「SSS 17a」がこの重力波の起源として最も可能性が高いことを明らかにしました。重力波の観測で、これだけ明るい天体ははつきり発見されたのは、まさに想定外の出来事だったのです。

ちなみに『サイエンス』誌は、このときに世界各地で3500人以上の研究者が協力した中性子星の合体の観測を、2017年の科学において最も重要な成果と評価しています。

我々は、なぜ存在しているのか

中性子星の合体観測には、重力波発生源

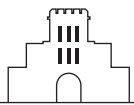
いわれる現象「ガンマ線バースト」の起源とも考えられています。中性子星合体の観測を通じて、このガンマ線バーストの謎も解明したいと考えています。

もちろん、研究は思った通りには進みません。けれども予想もしなかった現象を見つけるのが、研究の醍醐味です。宇宙とは、私たちを構成している物質、つまり元素が生まれた場所です。地球上にあるすべてのものが、元々は宇宙空間を漂う星の中にあったのです。その起源を突き止める研究には、一生を捧げる価値があると思っています。

※中性子星：超新星爆発後に残される高密度天体の一つ。

とみなが のぞむ
理工学部 物理学科 富永 望 教授

1980年鹿児島市生まれ。東京大学理学部天文学科卒業。同大学院理学研究科博士課程修了。国立天文台研究員を経て、2009年に甲南大学へ。専門は天文学、宇宙物理学。大学時代、元素の起源に関心をもち、元素が誕生する場として宇宙空間の研究者となる。観測データ解析の第一人者として研究に従事する一方、多忙な合間を縫っての息抜きは、高校時代からの愛読書である「週刊少年サンデー」を読むこと。



第53回摂津祭・キッズフェスティバルを開催

11月3日から5日まで、第53回摂津祭を開催しました。3日には、新施設iCommonsの地域向けのお披露目を兼ねた「親子で楽しむ甲南大学 キッズフェスティバル」も同時に行われました。本イベントは、大学の若手職員が中心となり企画・運営を担当。当日は「Kids緑日」と題して、フェイスペイント体験やバルーンアート体験、オリジナルエコバッグづくりのほか和太鼓演奏・体験や経営学部西村教授と神戸マイスター認定のパティシエによる「スイーツ教室」や「ヨガ教室」など大人も楽しめる催しも実施しました。キッズフェスティバルには1000人近くの方にご来場いただき、子どもたちも大満足の1日となりました。



ひょうご博覧会に大学ブースを出展

兵庫県との連携協定の一環として、11月11日・12日に兵庫県政150周年プレイベント「ひょうご博覧会in大阪2017」に甲南大学のブースを出展しました。会場は大阪梅田のMBS周辺という好立地。ブースには同じく協定を締結している岡本商店街さんにご協力いただき、岡本の人気店のパンやスイーツの詰め合わせなどを販売しました。大学からは学内で飲むことができる836(ハチサブロー)コーヒーの試飲・販売や巻頭特集で紹介したマネジメント創造学部の学生にも協力いただき、大学のPRを行いました。立ち寄っていただいた方からは「卒業生です!」「子どもが通っています!」などの温かいお声もいただきました。



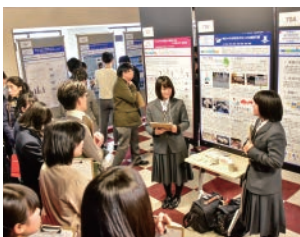
甲南フェス in iCommonsを開催

10月15日、大学同窓会設立60周年記念祭とオール甲南を兼ねた「甲南フェス in iCommons」を開催しました。イベントでは、和太鼓やダンスなど学生も活動成果を披露し、ミニコンサートや酒造メーカー若手経営者座談会や交流会なども行われました。また、来場者には食堂で使用できる食券も配付され、懐かしいメニューを召しあがった方々は、思い出話に花が咲いている様子でした。1日を通して、1000人以上の卒業生に足をお運びいただきました。



リサーチフェスタを開催

高校生と大学生・大学院生がともにポスター発表形式で自分たちの研究や活動について発表する甲南大学独自のイベント「リサーチフェスタ」を、12月23日に開催しました。当日は県内外の高校生230名、甲南大学・大学院生105名のほか多数の高校の先生方や大学教員が参加し、総勢400名以上が集まるなか110枚のポスター発表が行われました。活気あふれる会場では文系理系問わず、多くの高校生、大学生らが思い思いに質疑応答するなど交流を深め、非常に有意義なイベントとなりました。



「TEDxKobe2017」を開催

12月17日、岡本キャンパスで「TEDxKobe 2017」を開催しました(開催にあたり、初めて大学とパートナー提携を締結)。TEDとは、テクノロジー(Technology)、エンターテインメント(Entertainment)、デザイン(Design)といったさまざまな分野の人物が、18分以内でプレゼンテーションを行う、アメリカ発のイベントで、発表されたプレゼンテーションは全世界へ発信されています。会場となったiCommonsと甲友会館は、さまざまな装飾が施され、映像と音のエンターテインメントに包まれ、熱気は最高潮に。プレゼンターにはOBの木本孝広氏(H4高・8経営)も登壇し、学生24名もスタッフとして参加しました。TEDx色に染まった会場にはスタッフを含め約500名が来場し、盛会のうちに幕を下ろしました。



兵庫県と甲南学園が地域創生にかかる包括連携協力協定を締結

兵庫県と甲南学園は包括連携協力協定を締結することとなり、9月13日に、兵庫県の井戸敏三知事と吉沢英成理事長、長坂悦敬学長、山内守明校長の出席のもと、協定締結式が執り行われました。学校法人と都道府県が協定を結ぶのは全国初のこととなります。

なお、今回の協定では、将来にわたり活力ある地域社会を構築する「地域創生」の実現に向けて、「次代を担う人材の育成」や「地域の活性化または交流の拡大」をはじめ、全7項目の連携事項を実施していきます。今後、兵庫県と甲南学園双方が充実・発展し、地域振興への寄与ができるような取り組みを行っていきます。



締結式にて、吉沢理事長(左)と井戸知事(右)

和歌山市と甲南大学が包括連携協定を締結

1月29日、和歌山市と甲南大学は包括連携協定を締結しました。同市とは、2016年度からKONAN プレミア・プロジェクト「関西湾岸ネットワークシンポジウム」などで親交を深めていたこともあり、今回の締結に至りました。本協定の締結により、まちづくりの各分野で知的・人的資源の交流を図り、双方の更なる発展と充実に寄与し、地域連携を積極的に推進していきます。



和歌山市 尾花正啓市長(左)
甲南大学 長坂悦敬学長(右)

岡山県と甲南大学が就職支援協定を締結

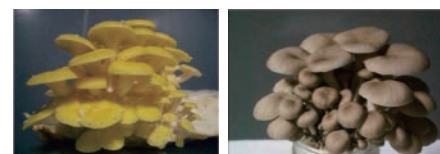


1月15日、岡山県と甲南大学は就職支援協定を締結しました。1月時点で、本学には岡山県出身の学生が196人在籍し、都道府県別では兵庫県、大阪府に次いで3番目に多い学生を受け入れていることもあり、このたびの締結に至りました。

就職支援協定においては、学内で同県内の企業の就職説明会を開いたり、企業情報をPRしたりするなど、本学学生と岡山県内企業のマッチング支援体制の構築といったU・I・Jターン就職支援への直接的な取り組みに加えて、学生や教員を派遣して課題解決策を考えるなど、地域連携型の事業への取り組みも、今後検討していく予定になっています。

田中修特別客員教授が日本一小さな町のファブリックきのこ事業を支援

世界一受けたい授業などで有名な田中修特別客員教授・名誉教授の技術を活用したファブリックきのこ事業(大阪府忠岡町)が、昨年8月より本格的に始動し、テスト栽培によって、「たもぎたけ」や「ひらたけ」などの栽培に成功しています。本事業は、田中修教授の講演を聴講された忠岡町関係者の注目を集め、町として地方創生推進交付事業として計画を始めたもので、甲南大学は忠岡町と連携協定を結び、全面的に協力してきました。甲南大学のもつ技術力がさまざまな分野で展開され、今後のさらなる発展が期待されます。

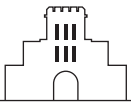


たもぎたけ(左)、ひらたけ(右)

「歴史文化研究センター」の活動報告

5月1日、甲南大学は東大阪市と受託契約を結び、東大阪市域の古文書について整理・調査を行い、その結果を市民へ普及することとなりました。このプロジェクトを進めるための特定プロジェクト研究所として、文学部歴史文化学科・東谷智研究室内に「歴史文化研究センター」を設置。代表者の東谷教授が、学外研究者の参画も得て、調査研究を進めました。東大阪市市制施行50周年の企画の一つとして、歴史文化学科の学生活動である「歴らぼ」の古文書班の学生たちが作成したパネルが市役所に展示されたほか、講演会を行うなど、市民へ成果を還元しました。また調査成果を報告書としてまとめました。





SNSで甲南大学の最新情報を発信中です



甲南大学公式Twitterアカウント
@konandaigaku

受験生に向けて本学の魅力や
イベント情報をつぶやきます。



甲南大学公式Instagramアカウント
@konandaigaku

さまざまな視点から
＼甲南boy 甲南girlをご紹介します。



甲南大学公式LINEアカウント
@konan_ch

入試やイベント、大学のニュースを
配信します。

【速報】

「甲南学園創立100周年記念事業募金」申込状況

温かいご支援に心より御礼申し上げます。

2018年1月31日現在

学校種	件数	金額(単位:円)
在校生・保護者	200	9,963,000
卒業生	1,298	242,268,222
教職員・旧教職員	212	62,482,345
一般・篤志家	11	3,332,000
法人	207	427,780,000
団体	60	314,858,914
総合計	1,988	1,060,684,481

「甲南学園創立100周年記念事業募金」のご案内

甲南学園は2015年より「学園創立100周年記念事業募金」をお願いしております。これまでに多くの方々からご協力のお申し出をいただき、誠にありがとうございます。今回のKONAN TODAYには、募金の払込用紙を同封させていただきました。引き続き100周年募金にご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。既にご寄付いただいた皆様にも同封させていただきますが、ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

募金概要	▶ 募金目標額 20億円 ▶ 事業規模 100億円 ▶ 募集期間 2015年10月1日～2020年9月30日(5年間)
募金金額	【個人: 1口 2万円】 100周年募金は、一人でも多くの方に賛同いただくことを目標としております。金額・口数にかかわらずご協力をお願い申し上げます。 【法人/団体: 1口の金額は特に定めておりません】 法人・団体用の申込書をお送りしますので、お手数ですが学園振興募金室までお問い合わせください。
インターネット募金について (個人の方のみ)	クレジットカード・ネットバンキング(pay-easy)・コンビニ支払からお選びいただくことができます。 STEP 1 学園創立100周年記念事業募金 甲南大学トップページのバナーをクリック STEP 2 インターネットでお申込み このボタンをクリック STEP 3 画面指示に従って手続きをお進めください

【詳しくはこちらのアドレスより、ホームページをご覧ください。http://www.konan-u.ac.jp/100th_anniversary/】

お問い合わせ | 甲南学園 学園振興募金室 Tel:078-435-2323(直通) Fax:078-435-2546 E-mail:bokin@adm.konan-u.ac.jp

兵庫県との連携協定の一環で 「阪神間モダニズム」に関するセミナーを開催

2月14日、兵庫県政150周年を記念し、地域創生セミナー「阪神間モダニズム1900-1940～未来に生かすその精神風土～」が武庫川女子大学甲子園会館(旧甲子園ホテル)で開催され、200名を超える方々が参加しました。兵庫県と甲南学園らが主催した本セミナーの冒頭では、明治末期から昭和初期の阪神間モダニズムの時代を生き、甲南で学んだ音楽家の貴志康一の軌跡を紹介。続いてヴァイオリニストの山中裕平氏(H9高)が奏でる音楽に合わせ、いけばな小原流家元の小原宏貴氏(H18高・22経営)がいけばなを披露し、モダニズムの世界観を表現しました。その後行われたプレゼンテーションでは、西宮神社十日戎開門神事を研究する明石工業高等専門学校准教授の荒川裕紀氏(H8高・12文・14修了)が西宮えびすについて紹介し、「福男」と阪神間のつながりやその歴史を語りました。「阪神地域の未来」をテーマにしたパネルディスカッションでは、パネリストの一人、小原氏は「新しいことには反発はつきもの。その壁を越えていくためには言い続けていくことが重要」と伝統を守っていく一方で、時代に沿った変化の必要性についても言及されました。



西宮ストークスで主将として活躍する 谷直樹選手(H23経済)からメッセージをいただきました！

男子プロバスケットボールBリーグ兵庫県唯一のクラブ「西宮ストークス」で、現在主将を務めている谷直樹です。Bリーグが開幕した2016-17シーズン、西宮ストークスはB2で優勝し、1年でB1に昇格しました。2017-18シーズンから、日本最高峰のB1リーグで戦っています。そのため、相手チームのレベルも非常に高く、これまでのように順調に勝ち星をあげられず、苦しい現実と向き合っています。チームは非常に厳しい状況にありますが、うつむくことなく前だけを見て、チームとしても個人としてもレベルアップしていけるように日々精進しています。ファン・ブースターの方たちが声援を送ってくださる限り、決して諦めることなく毎試合全力で戦っていきますので、後半戦も応援よろしくをお願いします！

西宮ストークス ホームページ: https://www.storks.jp/

硬式庭球部の女子が1部昇格

平成29年度関西大学対抗テニスリーグ入替戦(女子1部2部)において、神戸松蔭女子学院大学を制し、1部昇格を果たしました。同部は旧制高校が誕生した1923年に創部され、多くの名プレイヤーを輩出してきた伝統あるクラブです。新主将の中谷琴乃さん(営2)は「5年前に松蔭に負け、2部に降格した先輩方の悔しさを糧に昨年その松蔭に勝ち1部復帰をしました。4年次がおらず若いチームですが、受け継がれてきた伝統を大事にして王座出場します！」と力強く語りました。



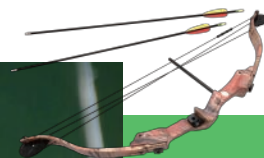
サッカー部が1部昇格、祝勝会を開催

第95回関西学生サッカーリーグで3年ぶりに1部へと昇格したサッカー部が、12月14日に祝勝会を開催し、選手やOBら約180人が参加しました。大学が開学した1951年に同部も創部され、現在の部員数はなんと約130名と大所帯に。メンバーをまとめあげる新キャプテンの八木脩斗さん(済3)は「今シーズンは1部残留を目標に掲げました。強い組織をつくり上げる為に、一人ひとりが本気になることが求められます。目標達成のため、一丸となって挑んでいきます。ご声援よろしくお願いいたします！」と意気込みを語りました。



日本のトップに輝いた2つのクラブ 栄光を手にした甲南生たちを紹介します

勉強だけにとどまらず、課外活動にも積極的に取り組み、
輝かしい成果を残した「アーチェリー部」と「ブラスアンサンブル部」。
まさに学園の理念が掲げる「徳・体・知の調和」を体現した生徒たちの奮闘ぶりを紹介します。



アーチェリー部

第72回国民体育大会アーチェリー少年男子団体優勝

中学・高校の甲南トリオが存分に個性を發揮 ズバッと射貫いた的は、まぶしく輝く金メダル

お互いを思いやる
チームワークが勝利のカギ

国民体育大会「愛顔（えがお）つなぐえひめ国体」にて行われたアーチェリー少年男子団体戦において、兵庫県が17年ぶりの栄冠に輝きました。各都道府県の出場チームは予選大会に出場した中学生、高校生全員から上位3名が選ばれるのですが、兵庫県代表は全員が甲南の生徒。勝利を呼び込んだのは「一人ひとりが全力を出しきれるように、お互いを思いやるチームワークが大きかった」と話す岡崎さん。

一心同体の3人だからこそ
発揮できたベストパフォーマンス

「安定して好成績を収める岡崎さん。ムードメーカーで試合巧者の中川さん。先輩2人のおかげで、最後までリラックスして競技を楽しめました」大会を振り返ってこう話すのは唯一中学生の岩佐さん。出場選手のほとんどを高校生が占め、



甲南高等学校 三年C組 岡崎 恭輔さん
おがさき きょうすけ
甲南中学校 3年d組 岩佐 永寿さん
いわさ ひさとし
甲南高等学校 三年B組 中川 光造さん
なかがわ こうぞう

また風が逆巻く悪条件の中、先輩からの「普段通りに射れば当たるから」といった声に勇気をもらったといいます。
この日に向けて、来る日も来る日も一緒に練習を続けてきた3人は、やがてお互いの持ち味を知り尽くし、「それぞれがベストパフォーマンスを發揮するには、どんな風にサポートすればいいのか理解し合っていました」と勝因を語る中川さん。強い絆で結ばれた3人の笑顔は、金メダル以上にまぶしく輝いていました。

ブラスアンサンブル部

ビッグバンドジャズの祭典でトップに 観客もノリノリの演奏で夢を実現

第9回国際ジャズオーケストラ・フェスティバル 高校バンド総合優勝

甲南らしい楽しい演奏で
会場が拍手に包まれた

「第9回国際ジャズオーケストラ・フェスティバル（ステラジャム）」は小中高生バンド＆青少年市民バンドの部で、ブラスアンサンブル部の高校バンドが見事総合優勝を果たしました。甲南らしいノリのいい演奏で自由曲3曲と課題曲1曲を披露し、オーブンエアの会場を大いに盛り上げた高校バンド。高い演奏技術と抜群のチームワークで奏でるサウンドは観客の大きな拍手を浴び、全国のトップに立ちました。さらに甲南中学生バンドがベストサウンド賞を、ピアノとサクソスでも個人賞を受賞するうれしいニュースもありました。

優勝し、その日も練習する
努力とチームワークが強い

ステラジャムの約1か月前に行われた「ジャパン・スチューデント・ジャズ・フェスティバル2017」では、惜しくも4位



甲南高等学校 二年B組 上辻 朋哉さん
うえつじ ともや
甲南高等学校 二年E組 井上 優佑さん
いのうえ ゆうすけ

だった高校バンド。その悔しさをバネに練習を続けてきました。「ステラジャムに向けてベストな状態をつくるため、全員で努力を重ねました」と語るのはコンサートマスターの井上さん。メンバーの意見を平等に聞き、バンドをまとめる大役も果たしました。マネージャーの上辻さんは「優勝の夢がやっとかなって、本当にうれしかったです」と満面の笑顔です。そんな高校バンドを顧問の今田孝一先生はこう評します。「個人の力が高く、努力できる学年です。実は優勝した夜も『優勝した理由がわかれば、今後も優勝できるはず』と声をかけたところ、合宿所で自分たちから進んで練習をしていました」。まさに努力とチームワークで勝ち取った栄冠です。

2017年 ソフィア講演会

各界の第一線で活躍される著名人より、生徒たちが「いかに生きるか」を学びました。

第1回 あきらめないことが冒険だ



アルピニスト
野口 健 氏

生徒の声

- 僕は失敗するのが怖くて、挑戦などをあまりしてこなかったが、挑戦をすると失敗もあるが、その失敗から学ぶものがあるということが分かった。(中3)
- 命の大切さとあきらめない心が重要だということを改めて実感しました。(中3)
- 講演を聞いて、自分の意見をはっきり言えるようになろうと思いました。(高二)

第2回 創造と革新

あったらいいなを形にする企業経営の極意とは



小林製薬株式会社
副会長 小林 豊 氏

生徒の声

- 僕は経験したことのないことや経験できないことにチャレンジすることが好きなので小林製薬のような会社で働けたら楽しそうだと思います。(中1)
- 努力が大切であり、努力がない人は成長できないということを学びました。(中2)
- 今回のソフィアは数々の感銘と強い意志、そしてそこから見える誠実さを感じました。(高二)

Talk Session 対談

甲南の自由な風土と
優しい先輩たち

人の良さが

音楽に出るよね

Lee Shota
李 祥太さん

Hirose Miki
広瀬 未来さん

第9回国際ジャズオーケストラ・フェスティバルで総合優勝を果たした、
甲南高等学校・中学校ブラスアンサンブル部（KBE）。
実はプロのミュージシャンを何人も輩出している名門クラブです。
今回はそのOBのお二人、トランペッターの広瀬未来さんとジャズピアニストの李祥太さんの対談が実現し、
1学年違いのお二人が中高時代の思い出など、楽しいトークセッションを繰り広げてくださいました。

バンド活動に アレンジ、作曲、 お互い忙しいですね

広瀬未来さん（以下、広瀬）：李くんは去年ニューヨークから帰ってきたんだね。現地ではどんな活動をしたか。

李祥太さん（以下、李）：2年間ニューヨークの大学で作曲編曲の勉強をしながらビッグバンドも率いていました。結構忙しかったです。家業に戻ることを決めていたので、去年1月には帰ってきましたが、広瀬さんは去年「第10回なにわジャズ大賞」のプロ部門を受賞されましたね、おめでとございます。

広瀬：ありがとう。僕は今、小編成のクインテットとビッグバンドをもっていて、全国で演奏をしています。あとは音楽大学と音楽学校で若い人の指導をしたり、大会前は甲南に来てKBEの生徒の特訓もします。演奏も生徒を教えることも大好きで、曲のアレンジも楽しいし、好きなことばかりやっています。李くんも平日昼間の仕事をして音楽もして、忙しいでしょ。

李：広瀬さんほどではないです（笑い）。普段はスタジオやライブスペースもあるビルの経営をして、週末はビッグバンドで演奏したり、曲を書いたり音楽活動をしています。甲南大学卒業後の7年間、会社員をしていたときも同じようなリズムだったので、苦には

た人の良さが音に出るから。

これだけ多くの プロミュージシャンが 輩出した理由とは

広瀬：僕のクインテットバンドの、ベースの中林薫平（なかばやしくんぺい）さんとアルトサクソフスの浅井良将（あさいりょうすけ）くん、二人とも甲南の卒業生です。李くんもそうだと思うけど、東京でもニューヨークでも、甲南卒業生とのセッションは多いですね。みんな人が良くて、本当に音楽が好き。だからほかのミュージシャンから声がかかって、これだけたくさんプロミュージシャンが活躍しているんだと思います。

李：中高一貫の良さもあると思うんです。僕の5歳上の黒田さんの学年と次の学年で、たくさんプロのミュージシャンが出ました。中学1年生の僕たちから見ると、高校生の先輩が将来プロになるぐらいにがんばっていて、「自分たちもあれぐらい演奏できるようにならないといけない」と思えたのです。憧れの最高学年が中学3年生か高校2年生か、その差は大きいですよ。さらに僕たちの学年は、「プロになる」という選択肢があることを先輩が示してくれましたから。

なりません。

甲南の自由な風土は ジャズにぴったり 良い6年間でした

李：僕が中学1年生のときに、ブラサンサンプル部の練習を見てみようと思案室をのぞいたら、ドアの前にいたのが中学2年生の広瀬さん。運命の出会いでした（笑い）。

広瀬：僕の場合は4歳上の黒田卓也さん。中学1年生のとき、今や世界的なトランペッターになった黒田さんから、渡されたトランペットを吹いたら、ちよつと音が出た。黒田さんに「天才」と言われたのが入部のきっかけです。ジャズなんて聴いたこともなかったのに。

李：僕もですよ。小学5年生までピアノを習っていただけで、たまたま音楽室をのぞいたら、こうなった。でも、楽しくない思い出はないですね。音楽に集中できた6年間でした。当時はピアノ担当の先輩が少なかったもので、僕は中学校から高校バンドに出してもらった、のびのび活動ができて、上達するのうれしかった。でも広瀬さんがすごいのは、高校卒業後に大学には進まず、プロとしてニューヨークに行ったことです。よね。

広瀬：中学3年生でプロになろうと決

神戸発で国際的な活動、 面白いことがしたいですね

広瀬：調子のいい日もあれば、悪い日もある、それがジャズの面白さだと僕は思っています。メンバーを変えたら良くなるか、そうでもないし、理由が見えない。即興音楽なので、その日の気分や人間性がそのまま出るところが面白い。李くんはどうですか。

李：ジャズの面白さは、国境が関係なくなることで。曲さえわかればことばが通じなくても、一緒に演奏できて、みんなで楽しめる。僕はニューヨーク留学中に南米系移民が多いライブハウスで演奏していたのですが、そこでホンジュラスから来たトランペッターと出会いました。それが縁でホンジュラスに呼んでもらってローカルミュージシャンと演奏して、現地の人とすごく盛り上がり。ジャズをやっている醍醐味ですね。

広瀬：そんな世界で活躍する李くんのこれからの目標は。

李：呼んでくれる人さえいれば楽譜と体ひとつで世界中どこでも演奏できるし、海外で出会ったすばらしいミュージシャンを神戸に呼ぶことだってできる。また、SNSなどを活用すれば、神戸の優れたミュージシャンを世界に紹介することもできる。国際都市ニューヨークからは離れてしまっただけど、神戸に居ても面白いこと、国際的な活動ができるということを証明してい

めて高校は行くつもりはなかったけれど、親に懇願されて高校へは進学しました。今は親に感謝しています。やっぱり中高の6年間でコミュニケーション力といった人としての基本が身につきましたから。結局ニューヨークには10年いました。黒田さんもうたし、みんな演奏活動をして楽しかった。でも、若くて恐れを知らないからできたことです。

李：いや、若くても決断ができる人ときない人があると思いますよ。

広瀬：僕自身の性格が大きいけれど、甲南の自由な風土も影響していると思います。当時顧問だった石川保則先生のもと、のびのびと活動させてもらえたり、何より自由な風土はジャズにぴったり。先輩も優しいいい人ばかりで、山のようなCDを自宅からもつてきて、貸してくれた人もいました。そうし



ひろせ みき 広瀬 未来さん

1984年神戸市生まれ。甲南高等学校・中学校在学中にKBEでトランペットを演奏。高校卒業後1年間はライブハウスを中心に活動し、2003年にニューヨークへ渡り世界のミュージシャンと共演。ビッグバンドを率いるトランペッターとして活動中。



り しょうた 李 祥太さん

1984年神戸市生まれ。甲南高等学校・中学校在学中にKBEでピアノを演奏。甲南大学進学後もライブハウスを中心に活動し、2015年からはニューヨークへ移りビッグバンドを率いる。2017年1月に帰国し、ジャズ作編曲家・ピアニストとして活動中。

きたいです。広瀬さんはどうですか。

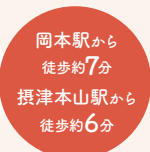
広瀬：練習して、いい音楽を作って、そして音楽家の地位向上を実現したいです。ミュージシャンの地位が守られているアメリカの実情を目の当たりにしてきたので、僕が働きかけていきたいと思います。**李**：さすが面倒見のいい広瀬さんならではの目標ですね。

広瀬：ありがとう、お互いがんばりましょう。

くろだ たくや 黒田 卓也さん トランペッター



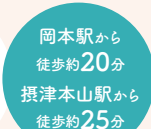
1980年芦屋市生まれ。甲南高等学校・中学校在学中にトランペットを始める。甲南大学卒業後、ニューヨークのニュースクール大学ジャズ科に進学し、有名クラブに出演するなど、精力的に活動する。2014年には日本人として初めてブルーノート・レコードと契約。国内では、報道ステーションの新テーマ曲をニューヨークで活躍する日本人グループ「J-Squad」のメンバーとして手掛けた。現在はブルックリンを拠点に活動中。



本山街園バラ園

神戸市東灘区岡本2丁目

もともとは、山手幹線道路工事の際に植樹された苗が、地域ボランティアの方々に育てられ、今では約600株もある見事なバラ園になったのだから。30近い品種のバラには説明プレートがあり、植物園のように花の名前の由来などを知ることができますよ。もちろん無料です。



岡本北小公園

神戸市東灘区岡本7丁目

岡本7丁目に造成された比較的新しい住宅街の一角にある小さな公園。おしゃれなウッドデッキが特徴的で、ここからは東灘区・芦屋方面に眺望が広がっています。また、刻々と趣を変える夜景スポットとしても知られています。ただし、住宅街の小さな公園なので、周りに迷惑をかけないように、マナーを大切にね。



春のお散歩
MAP
マップ



保久良神社

神戸市東灘区本山町北畑680

境内外地から石器時代から弥生時代後期にかけてのさまざまな遺物が出土している由緒ある神社で、日本の未知の古代文明、カタカムナの遺跡として、好事家には知られています。そして、もう一つの魅力は眺望。鳥居付近より神戸から大阪の港風景が一望できますよ。



番外編

二楽荘跡

1909(明治42)年、浄土真宗本願寺派第22代門主、大谷光瑞(とうざい)師によって、岡本の山麓に壮大で華麗な異国風建築の別荘「二楽荘」が建てられました。その後1925(大正14)年ころ、諸般の事情によって甲南学園に使用権を譲渡する計画がもち上がったのですが、昭和に入り二楽荘は焼失してしまいました。今は岡本のまちなみの一角にある甲南大学ですが、もし二楽荘が焼失していなかったら、キャンパス風景が変わっていたかもしれませんね。なお、二楽荘跡は現在私有地なので立ち入ることはできないので、ご注意ください。



▶「二楽荘」について詳しく知りたい方は
<http://www.konan-u.ac.jp/kouhou/hyogo/07.html>

岡本ぶらり

第3回

私たちが紹介します

ナビゲーター/
もっとさん と なんぼーくん

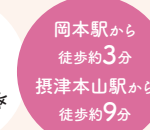
「岡本」のまちをもっともっと知りたい!
好奇心旺盛な女の子と、ご存知甲南
の公式キャラクター。



少しだけ足をのばして

岡本的 春のお散歩のススメ

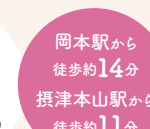
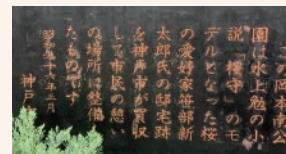
日ごとに暖くなり桜や新緑に誘われ、お出かけが楽しくなる季節がやってきました。梅林で有名な岡本には、それ以外にも季節を楽しめる素敵なお散歩スポットがたくさんあります。今回は私たちのおススメ「春のお散歩スポット」を紹介します。お花見したり、ハイキングしながら、神戸の眺めを見渡したり、みなさまらしい春の1日をご堪能ください。



岡本南公園(桜守公園)

神戸市東灘区岡本5丁目

水上勉の小説「櫻守」のモデルとなった桜博士・笹部新太郎氏の邸宅跡に整備された公園で、閑静な住宅街に位置します。兵庫県の天然記念物や神戸市の市民の木に指定されている「ササベザクラ」や「荘川桜」など、めずらしい種類の桜を臨めますよ。



小寄公園

神戸市東灘区本山町4丁目

知る人ぞ知る桜スポット。本数は少ないのですが広い公園でのんびりと過ごせます。たくさんの遊具に広いグラウンド、また交通公園だったところの名残で、機関車が展示されていて、お子さま連れのお花見にピッタリです。



「おしゃれなまち」のイメージが強い岡本ですが、街中や少し足をのばしたところには、爽やかな季節を楽しめる場所があります。みなさん、次のお休みはお弁当をつくって、「岡本的春のお散歩」を楽しんではいかがでしょうか!



神戸・明石から国際映画祭へ

「地域」と「世界」を作品で結ぶ、映像作家



取材撮影協力／元町映画館

Yasokawa Masaru

映像作家 八十川 勝 さん

2017年5月、第70回フランス・カンヌ国際映画祭Marché du Filmで1本の日本映画が上映されました。聴覚障がいのある女性を主人公に、その恋愛と青春をみずみずしく描いた映画『歌声を聴いてほしくて』。大きな拍手を浴びた同作品は、神戸・明石を中心に活躍する映像作家・八十川勝さんと彼が率いる「垂水映画劇団」の手によるもの。カンヌでの上映はすでに2作目となる八十川さんに、これまでの歩みと作品への思いを伺いました。

「カメラがあれば撮れる」
そのことばに背中を押された

甲南大学理学部物理学科を卒業後、映像プロダクションのCGアニメーターへ。八十川勝さんの映像作家人生は、畑違いの世界に飛び込むことから始まった。「見、異色のキャリアに見えるが、僕にとっては自然でした。中学校の卒業文集に『映画監督になる』と書くほど映像の世界に興味があったし、大学時代は、コンピュータを使った研究に没頭していましたから」。約3年間、ゲームのオープニング映像などを手掛け、その後、独立。専門学校や大学でCGなどを教える傍ら、映像クリエイターとしての活動を始める。映画を撮りたいという中学

校以来の夢は、胸に秘めたままだった。「背中を押してくれたのは、ある映画監督の意外なことばでした。僕が『映画は、どうやって作るんですか』と尋ねたら、『カメラがあったら撮れるよ』と、いとも簡単に答えてくれたのです。衝撃でした。そんなにシンプルなのかと」。映画を撮ろう、と決めた瞬間だった。最初の作品こそ完成には至らなかったが、2004年、自分にできる範囲で丁寧に取り組もうと考え、映画製作団体「垂水映画」を設立。制作・監督・脚本・編集を自ら担当した『AMAZING GRACE』は、第9回インディーズムービー・フェスティバルルーザーズラウンドで入選を果たし、早くも頭角を現す。

その後、さらにインスピレーションを与えてくれる存在と出会う。フェイスブックを通じてやりとりを始めた視覚障がい者たちとの交流だ。「小さいころ、自転車に乗っていた『ローラースケートをやっていた』など予想もしなかったエピソードが次々に出てきて驚きました。従来の映画が描いてこなかった障がいのある人々のリアルで生き生きとした人生、等身大の青春を描きたい…そう思うようになったのです。以来、特別支援学校に足を運び、視覚障害者移動支援従業者(ガイドヘルパー)の資格を取得するなど持ち前の行動力を発揮。地道な積み重ねを経て2017年、『歌声を聴いてほしくて』という作品を完成させる。新境地を示した同作品は、カンヌ国際映画祭Marché du Filmに選出。前年の『どんぐりコーヒー』のおいしい煎れ方』に続く

ホラー映画で才能を発揮 自らの方向性を見つめる

八十川さん率いる「垂水映画」は、自治体や商工会議所の依頼のもと地域PR映像の制作も手掛け、神戸市や明石市の自治会、子ども会などと信頼関係を深めていった。ホラー作品『ゾンビチャイルド』の制作をスタートしたのもこのころだ。同作は、『鬼子母神の子守唄』(2012年)、『鬼子母神の子守唄 愛梨』(2013年)、『鬼子母神の子守唄 直子』(2015年)と続くホラーシリーズの原点ともいべき作品。公開後、全国のDVDレンタル店で販売・レンタルされるなど順風満帆なメジャーデビューだったが、意外にも八十川さん自身はホラー映画と距離をとることを決めていたという。「ホラー映画を作れば作るほど、人間を描きたいと思うようになったのです。さまざまな人と接するうちに、人間は一人ひとりと異なることを実感しました。同じころ、

2年連続カンヌで上映 リアルな人生を描き、世界へ

納得のいく青春映画が撮れたことも契機になりました」。その青春映画とは、2013年制作の『ひよこカラー』。中学生男女のひと夏の冒険を描き、みずみずしい映像で人々の感動を呼んだ作品だ。

その後、さらにインスピレーションを与えてくれる存在と出会う。フェイスブックを通じてやりとりを始めた視覚障がい者たちとの交流だ。「小さいころ、自転車に乗っていた『ローラースケートをやっていた』など予想もしなかったエピソードが次々に出てきて驚きました。従来の映画が描いてこなかった障がいのある人々のリアルで生き生きとした人生、等身大の青春を描きたい…そう思うようになったのです。以来、特別支援学校に足を運び、視覚障害者移動支援従業者(ガイドヘルパー)の資格を取得するなど持ち前の行動力を発揮。地道な積み重ねを経て2017年、『歌声を聴いてほしくて』という作品を完成させる。新境地を示した同作品は、カンヌ国際映画祭Marché du Filmに選出。前年の『どんぐりコーヒー』のおいしい煎れ方』に続く

いつまでも好奇心を忘れず、 新たな発見を映像世界に

2年連続の快挙となった。神戸・明石というローカルな場所から、世界で最も有名な映画祭・カンヌへ。八十川さんは、地域と世界の距離をどのように見つめているのだろうか。「地方に拠点を据えているからこそ、日本国内で充足せず世界をめざそうという発想が生まれました。口ケ地を熟知しているため、美しく力のある映像が撮れることも強みです」。2016年10月、「垂水映画」は、「垂水映画劇団」へ。俳優の演技指導に力を入れるという決意が「劇団」ということばに込められている。

『歌声を聴いてほしくて』は、カンヌ国際映画祭での上映後も、インドの国際映画祭[Aab International Film Festival]とオフィシャル上映作品に選ばれるなど世界各地で上映の動きが広がっている。さらに2017年には、短編映画『Today, I am going to introduce my father』もカリフォルニア国際映画祭・デイベイス中国映画祭の短編部門で作品賞を受賞。着実に評価の高まる八十川さんに改めて映画への思いを尋ねてみると、「障がい者、健常者など人間をカテゴライズして理解したつもりになるのではなく、一人ひとりのリアルな人生を発見したいと思います。俳優の演技についても自分の演技観を押し付けるのでなく、『こんな演技があるのか!』と僕自身が常に発見していた。多様な人生に出会って生まれる発見と感動を映像で表現していきたいですね。返ってきたのは、あくまでも真摯な答えだった。甲南大学在学中、自分自身の興味を徹底的に追求した八十川さん。恩師の中山弘隆

INFORMATION

垂水映画劇団 URL 【http://www.tarumimovie.com/】



【インスタグラム・ツイッター】
@tarumi_movie

元町映画館 URL http://www.motoei.com/

所在地 神戸市中央区元町通4丁目1-12 電話・FAX 078-366-2636

アクセス JR・阪神電車「元町」駅西口より、南西へ徒歩6分
神戸市営地下鉄海岸線「みなと元町」駅 2出口より北へ1分

映像作家
やそかわ まさる
八十川 勝 さん

甲南大学理学部物理学科を卒業後、映像プロダクションに勤務。専門学校講師、大学非常勤講師などを経て2004年「垂水映画」(現「垂水映画劇団」)を設立。映像作家・映画監督として活躍し、現在に至る。2011年、OSAKA LOVERS CMコンテスト大賞など広範な分野で受賞多数。

名誉教授(当時は知能情報学部・学部長)が中心となり開発した漫才ロボットに関するニュースを2014年に見たときには、思わず快哉を叫んだと語る。「漫才ロボットという発想が、柔軟で自由な研究室らしくてうれしくなりました。僕も在学中に培った好奇心を忘れないでいたいと思います」。彼の好奇心と発信力が生み出す作品に期待が高まる。

平生鈆三郎日記
刊行記念シリーズ

甲南大学名誉教授
ふじもと たてお

藤本 建夫

興奮に沸く

花園

と

甲子園

甲南精神とスポーツ

は二つの歴史的ビッグ・プレーで報いた。

残り3分の劇的トライ

旧制甲南高等学校創立のモットーは「人格の修養、健康の増進を第一義とし、個性を尊重して天賦の特性を啓発する知育教育」である、と平生鈆三郎は事あるごとに学生たちに語った。彼は、知育偏重、詰込主義の名門中学校、ナンバースクールから最高学府の帝大を出たエリートが、人格の修養をないがしろにしてきたために平気で汚職や詐欺をはたらくケース、またひ弱な体力のために卒業後何もできずに人生を終える現実を日常的に見てきたからである。

「天賦の特性」は「凡ての人は天才」である、とも言い換える。これは誰もが金銀であり、席次がトップになり得ることを意味しているのではなく、個々人がさまざまに生まれ持った才能を自由に伸ばし、適材適所に配されるとき、そこに相互に長短を補い、融和し協同できる社会が生まれる、と平生は固く信じていた。

彼はこのモットーに近づくためにスポーツを奨励した。特にラグビーと野球をこよなく愛したが、ここには精神的肉体的鍛錬ばかりではなく、チーム一丸となって闘うことで協同の精神が培われると確信していたからである。その彼に天



左隅に決勝のトライをあげた北野(昭和7年2月1日の大阪毎日新聞)

昭和3(1928)年12月2日、平生は甲南ラグビーチームの合宿の打ち上げにあたって次のように述べている。フェアープレイ、誠実、勇気、メンバーの共同一致を四大徳目とするラグビーを国民的スポーツとして小生から奨励しているイギリスと比較すると、日本にはこの意味でのスポーツに欠けていて、他人を貶めてでも自己の名誉心や利己心を第一と考える傾向がある。我々はこのラグビーの四徳性において「一面遊戯なると共に精神修養の機関なることを心に銘じ」、「日本選手の典型たるべきことを目標」として日々練習に励むべきである、と。

このようにスポーツを人格教育の一環と位置づけていた平生にとって特定競技にのみ熱中して学校を終えることは馬鹿げていた。したがって現代では考えられないようなこの発想を平生は息子たちにも、いわば強い。三男三郎は甲南高校から京都帝国大学に進学するが、ラグビー部に所属し、日本でも有数の名プレイヤーとして知れわたっていた。昭和5年、最初の日本代表が結成されてカナ



試合当日の「桜のジャージ」姿の三郎

ダに遠征することになったとき、その候補に三郎が入っていた。これはラグーマンとして非常な名誉であり、三郎はもちろん喜んだ。だが平生は、ラグビー協会会長からの直々の懇請を断り、学生はあくまで勉学が主で、それを犠牲にしてまでスポーツに打ち込むべきではない、と三郎の遠征を頑として許可しなかった。

昭和7年1月31日、花園ラグビー場で全日本対全カナダの日本初の国際試合が開催されることになった。平生は三郎がこの晴れの舞台にCTB(センタースリークォーターバック)として選抜されたことを大いに喜び、富士子、美津子、五郎を連れて意気揚々と応援に出かける。スタンドは2万5千人の観客であふれかえり、「本部の屋根まではみ出るほどの盛観」であった。試合は後半に全カナダにリードを許すが、残り3分「俄然球はスクラムより日本側に出で、スクラムハーフ、スタンドオフ、スリークォーターと手際

れたるときは余は己を忘れて三郎の奮闘を祈りしが、三郎は巧みに球を取って前進すること数ヤード、フォローせる北野にパスせしに、北野は之を受けて会心の疾走を以て敵のタックルを避けて辛ふじて敵陣に走込みトライしたときは、満場の観衆は総立ちとなり、拍手の声は天を動せり。そしてノーサイドの笛がなり、9対8で全日本が勝利した。One for all, all for one、まさにラグビーの精華であった。

延長25回の熱闘甲子園

平生はまた大の野球好きで、全国中等学校野球大会にはよく観戦に出かけた。大正15(1926)年夏、大阪ロータリークラブは台湾に旅行しているが、平生は8月14日に神戸港に着岸するや、荷物を書生に預けて準決勝和歌山中対大連商業戦にいそいそと甲子園に向かった。

この彼の野球への思い入れは、教育的には、野球が自己の利害しか頭にない日本人の国民性を矯正するため、チームワーク、協同精神を学ばせる格好の競技であり、また彼個人にとっても若い人々と場を共にすることで、いつまでも「若き気分を涵養」してくれるものがあつたらである(昭和2年8月26日)。

甲子園で球史に残る試合は何といつても、昭和8年8月19日、延長25回、5時間に及ぶ、準決勝明石中学対中京商業の死闘である。この日の熱狂振りについて「大阪朝日新聞 神戸版」によれば、「大球場には十萬(平生は八萬)の大観衆が寿司詰めとなつて身動きもままならぬ。…樹上といはず、柵上といはず、物上こと

ごとく人あり。…この日を見逃してはボール・ファンの名に恥ずとばかり白衣の大部は甲子園へ! 甲子園へ! とつづく。すばらしい人出だ。現在甲子園の収容人員は約4万7千5百人。それが10万人となれば、まさに壮観である。

この熱戦を平生は最後まで席を立つことなく観戦したが、実はこの年の3月に倒産しかつた川崎造船所再建という重大な任務を負つて社長に就任したばかりで、まさに東奔西走していたころである。その彼が専務とともに甲子園観戦とは、今では考えられない。

しかしこの熱戦には後日談があつた。同年8月28日にオリエンタルホテルで明石中学の選手のための慰労会が開かれた。平生はこの席をかりて次のように選手を褒めたたえた。この試合は「実に凄絶壮絶ともいふべきもので、我野球史上に嘗て見ざるレコード」である。だから優勝授与式に際し、明石中に特別に「善戦賞」が贈られた。また敵は、野球奨励を以て有名な中京商業。かかる強敵を相手に戦つた「精神的発露に対しては吾々は満腔の敬意を表するものである。…現代の知育偏重に流れたる学校教育方針を是正して真の人格の修養と健康の増進を図るにはスポーツを奨励し、以て青年に澁刺たる英氣と強固なる健康を与ふるにあると思う。しかもスポーツは興味本位に墮せざるを以て要諦とせざるべからず」と。

川崎造船所の再建とスポーツ

昭和9年1月21日、全川崎体育連盟

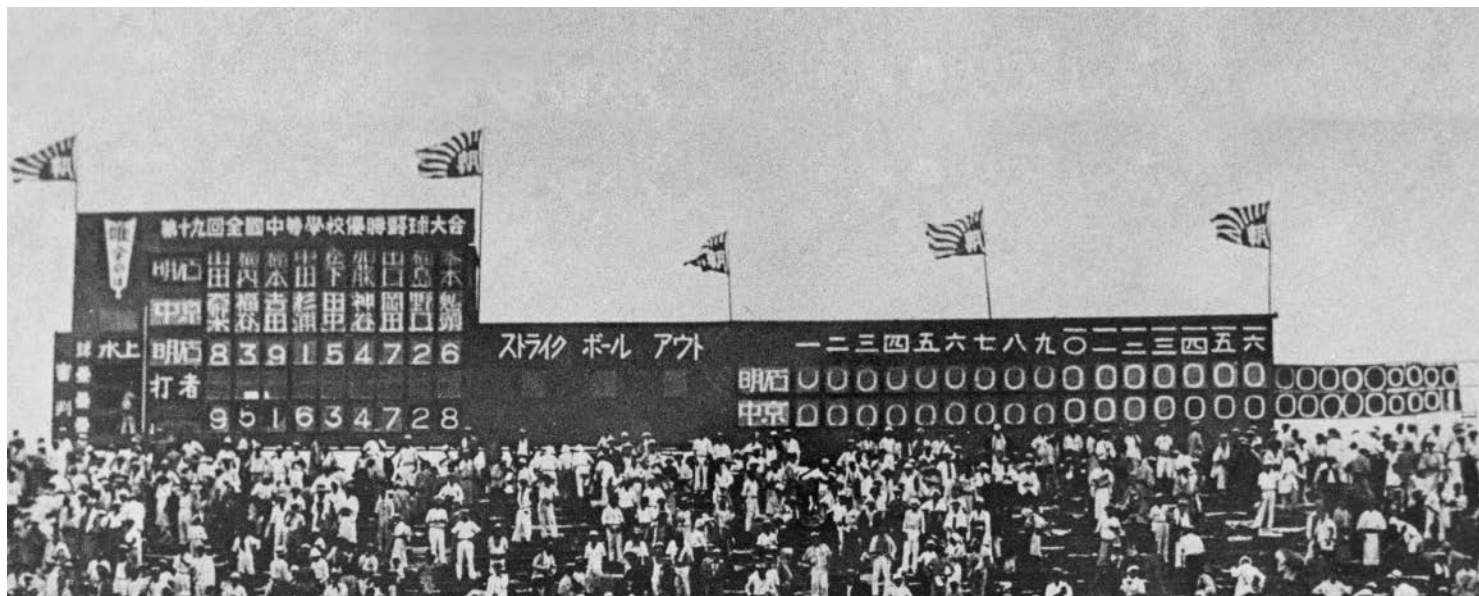
『平生鈆三郎日記』

第一巻～第十六巻を刊行中です。

『平生鈆三郎日記』第一巻～第十六巻を刊行しました。7月末には、第十七巻を刊行予定です。定価は各巻20,000円(税抜)ですが、甲南学園関係者の方(卒業生、在学生、ご父母、教職員等)は10,000円(税抜)でご購入いただけます。

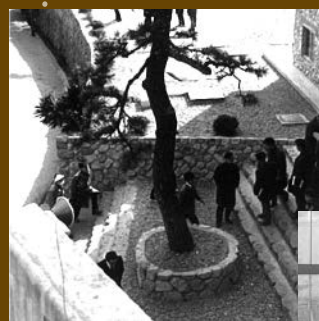
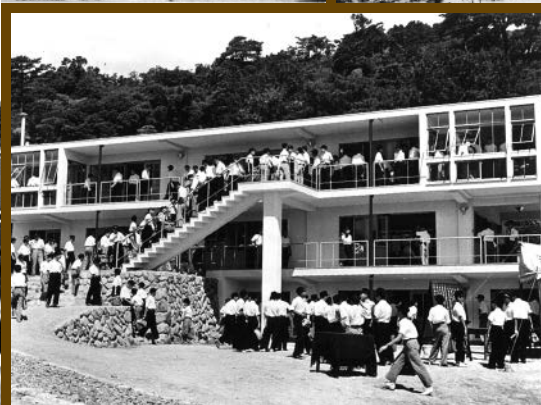
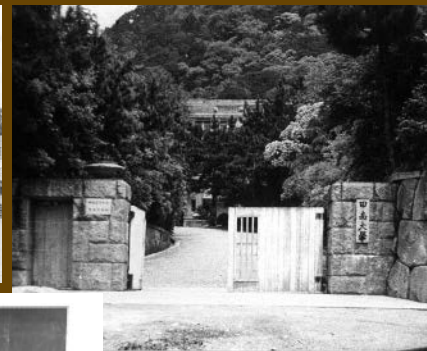
ご注文・ご購入に関するお問い合わせ

TSUTAYA BOOKSTORE
甲南大学 学生会館
Tel.078-441-7901
Fax.078-441-7915

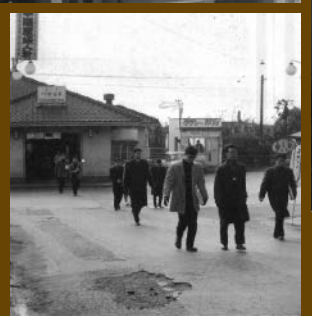
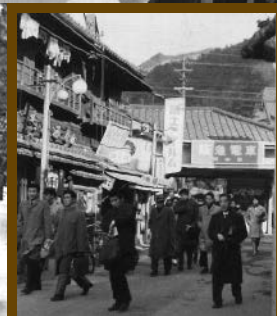


明石中学対中京商業戦で延々とゼロが続いたスコアボードと大観衆

甲南大学開学
1951



全 ¥ 20	2f オムレツ	2f ビーフカツ
モンディ ¥ 25	2f カレー ¥ 50	3f カレー ¥ 50
ービ ¥ 30	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
どんぶり ¥ 40	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
コービ ¥ 50	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
	2f カレー ¥ 50	3f ランチ
	2f カレー ¥ 50	3f ランチ



岡本駅 1961 (昭和36) 年ごろ 摂津本山駅 1961 (昭和36) 年ごろ

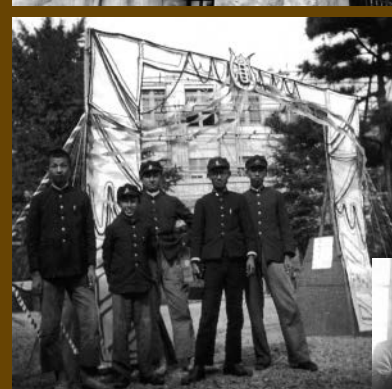
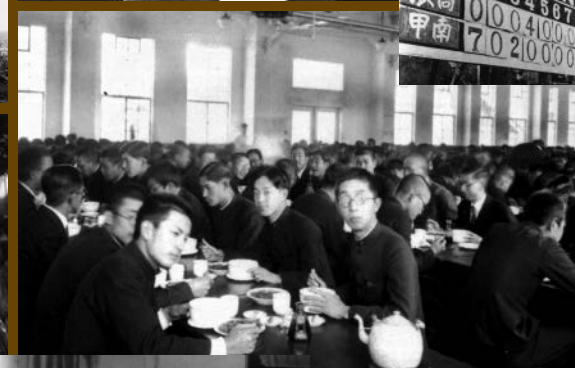
1960



タイムトリップ Memories Vol. 01

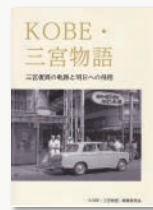
間もなく迎える甲南学園100周年の記念企画として、私たちの100年を懐かしい写真で振り返ります。
今号では、1919 (大正8) 年の旧制甲南中学校の開校、その後の1948 (昭和23) 年の新制甲南高等学校の開校を経て、1960年代までのスナップ写真を時代を追って紹介します。甲南学園の輝かしい歴史を懐かしのスナップで、お楽しみください。

旧制甲南中学校開校
1919



1950

甲南学園の教員・教諭と卒業生が執筆した 新刊一覧



KOBE・三宮物語
三宮復興の軌跡と明日への飛翔
上野 弘子
[S54経済] ほか著
神港ジャーナル社
¥1,400(税別)



警察法の理論と法治主義
島田 茂
[法学部教授] 著
信山社
¥10,000(税別)



Soleil couchant
CHICHE Didier
[国際言語文化センター教授] 著
Les Belles Lettres
23ユーロ



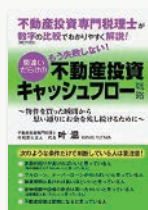
元素118の新知識
引いて重宝、読んでおもしろい
藤井 敏司
[フロンティアサイエンス学部教授] ほか著
講談社
¥1,400(税別)



大英帝国という経験
井野瀬 久美恵
[文学部教授] 著
講談社
¥1,310(税別)



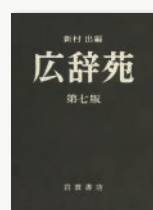
刑法各論判例50!
森永 真綱
[法学部准教授] ほか著
有斐閣
¥1,800(税別)



不動産投資専門税理士
もう失敗しない! 間違えだらけの不動産投資
キャッシュフロー戦略
叶 温
[H9経営] 著
バブフル
¥1,500(税別)



聴覚障害者と裁判員裁判
DVD教材で学ぶ法廷手話
渡辺 修
[法科大学院教授] ほか著
松柏社
¥2,200(税別)



広辞苑 第七版
子安 増生
[文学部特任教授] 心理学関連項目
単独執筆
岩波書店
¥9,000(税別)



ビラカンサの笑うところ
鳥居 真知子
[S49文、H7修了] 著
読売ライフ
¥1,000(税別)



大倉源次郎の能楽談義
大倉 源次郎
[S56文]
語り・文
淡交社
¥1,800(税別)



イメージの治癒力をめぐって
友久 茂子
[学生相談室
カウンセラー] 著
創元社
¥3,400(税別)

編集後記

2019年4月21日(日)の創立100周年まで、残すところ約1年となりました。今号より新企画として「タイムトリップメモリーズ」と題した写真コーナーを設けております。第1回は旧制時代の貴重な写真から大学開学後の1960年代前半までをさかのぼって掲載しました。現在地に移動する前の正門、登校風景、カツ丼が80円の時代など、甲南が歩んできた道のりや当時の雰囲気を感じていただければ幸いです。なお、なるべく多くの写真をお見せするため、詳しい説明を省略しております。サイズが小さく見えにくいものもございますが、ご理解いただければ幸いです。次回は1960年代後半から1980年代までを予定しておりますので、どうぞお楽しみに。

長きにわたり表紙を飾っていただいた、洋画家の西井義晃先生(S36経済)が、2017年12月14日に79歳でご逝去されました。生前の輝かしいご活躍に敬意を表するとともに、学園に多大なるご支援を賜りましたこと、この場を借りて御礼申し上げます。心よりご冥福をお祈りいたします。

PRESENT

KOCO Café No.836
(愛称:ハチサブローコーヒー)

UCC上島珈琲(株)と生協のコラボ商品。
(オリジナルブレンドコーヒー100g/粉)
ご希望の方は、同封のアンケートハガキでご応募ください。

応募締切:2018年5月31日到着分まで

抽選で
30名様に!

KONAN TODAY 53
2018 Spring NO.

発行日/2018年3月26日
発行/甲南学園広報部 〒658-8501
神戸市東灘区岡本8丁目9番1号 TEL. (078) 431-4341 (代)



Konan Athlete

課外活動成果報告
(敬称略)

みなさんの活躍に
心より拍手を送ります。

掲載期間 2017年7月12月

大学

全関西大学空手道選手権大会(10月)

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

男子団体 一部9位下

全関西学生タートトライアル
選手権 10月
男子団体 4位
個人優勝: 中平永吉(法4)

近畿ジュニア柔道体重別選手権
大会(7月)
73kg級3位・橋本涼真(文2) 全日本
ジュニア柔道体重別選手権大会出場

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

【ボートセーリング部】
全日本学生ボートセーリング選
手権 11月
男子団体 4位
個人優勝: 中平永吉(法4)

近畿ジュニア柔道体重別選手権
大会(7月)
73kg級3位・橋本涼真(文2) 全日本
ジュニア柔道体重別選手権大会出場

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

日本陸上選手権リレー競技大会
(10月)
女子4×100m 6位・工藤千佳
(當選) 三宅真理奈(當選2) 川崎咲良
(文2) 西尾香穂(當選2)

近畿ジュニア柔道体重別選手権
大会(7月)
73kg級3位・橋本涼真(文2) 全日本
ジュニア柔道体重別選手権大会出場

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)

全日本学生柔道優勝大会出場(7月)